

部品交換要領書

デュガードTypeM・S、ラフィールTypeS
ヴェナートED型D2・D1 断熱玄関ドア用
交換シリンダー(UR-J仕様)

HHW12-024
2014年7月発行

作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、弊社は一切の責任を負いかねます。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

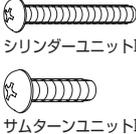
部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじは最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業はおこなわないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう養生などをおこなって作業をしてください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でケガをする恐れがあります。
軍手などの保護具を着用して作業をおこなってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

同梱されているもの

| 交換シリンダー | 取付ねじ | 交換要領書 |
|--|---|--|
| HH-3K-16709 HH-3K-16710  シリンダー：1個 サムターン：1個 子鍵：5本 |  シリンダーユニット取り付け用：2本  サムターンユニット取り付け用：2本 |  本書 1枚 |

作業のために準備していただくもの

| プラスドライバー | マイナスドライバー |
|---|---|
|   1本 |   1本 |

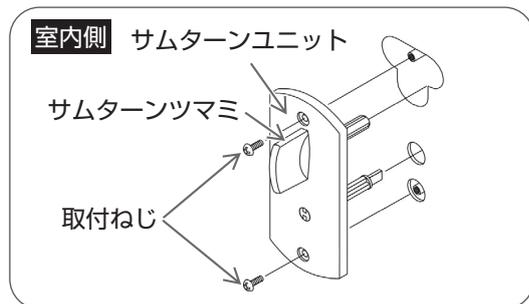
※部品が全てそろっていることを確認してください。

部品の取りはずし方

お願い

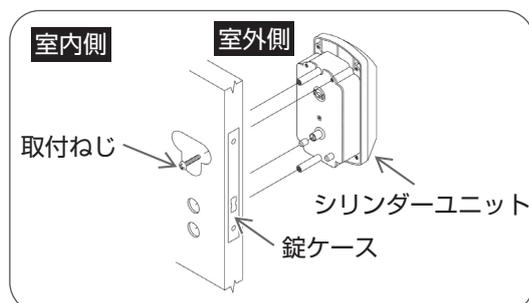
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でケガをする恐れがあります。
軍手などの保護具を着用して作業をおこなってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 サムターンユニットの取りはずし



プラスドライバーでサムターンユニット上下の取付ねじをはずす。

2 シリンダーユニットの取りはずし



室内側からプラスドライバーで上側の取付穴から取付ねじをはずし、室外側のシリンダーユニットをはずす。
※取付ねじをはずすと、シリンダーユニットがはずれますので、落下に注意してください。

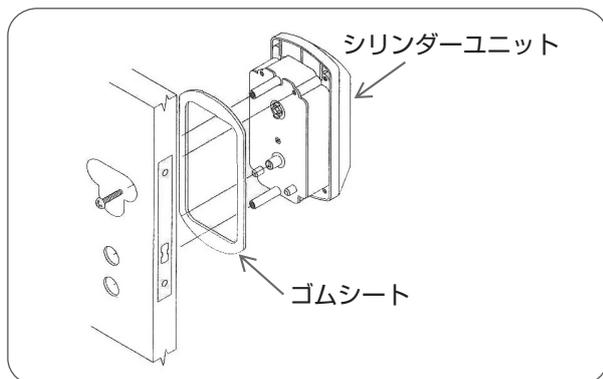
※部品の取り付け方は2・3ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

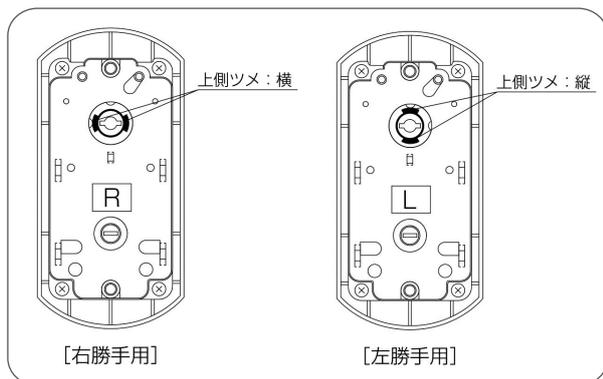
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でケガをする恐れがあります。
軍手などの保護具を着用して作業をおこなってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 ゴムシートの取り付け



シリンダーユニットの裏面にゴムシートを取り付ける。

2 シリンダーユニット裏面上側ツメの位置を確認



シリンダーユニット裏面上側ツメの位置を確認する。

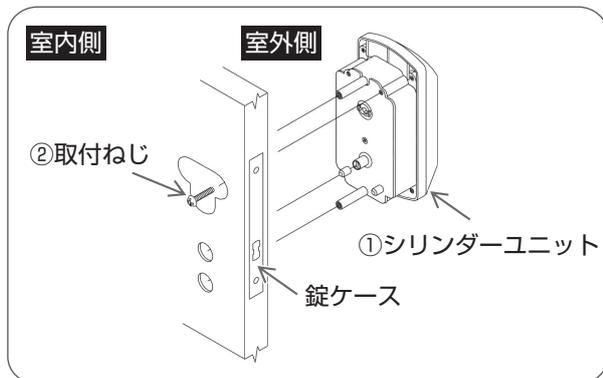
【右勝手(R)の場合】

シリンダーの裏面を見て、上側にある“ツメ”の位置が“横”方向にあることを確認してください。
(縦方向の場合は、右(時計)方向に90度回転させて、横方向にしてください。)

【左勝手(L)の場合】

シリンダーの裏面を見て、上側にある“ツメ”の位置が“縦”方向にあることを確認してください。
(横方向の場合は、左(反時計)方向に90度回転させて、縦方向にしてください。)

3 シリンダーユニットの取り付け



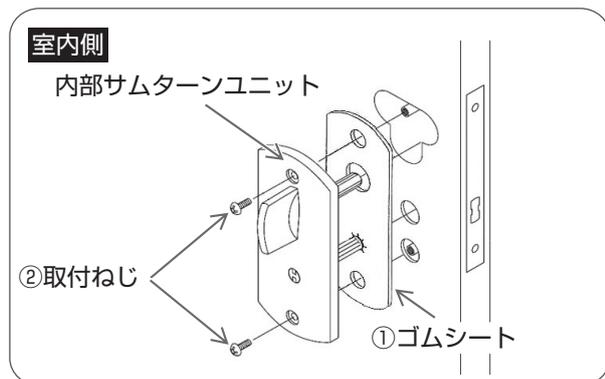
- ①シリンダーユニットを室外側から取付穴に差し込みむ。
- ②室内側からプラスドライバーで上側の取付穴から取付ねじをしめる。

部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でケガをする恐れがあります。
軍手などの保護具を着用して作業をおこなってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

4 サムターンユニットの取り付け



- ①ゴムシートを内部サムターンユニットの裏面に
取り付ける。
- ②サムターンユニットを室内側から取付穴に差し
込み、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

部品の交換後のチェック

お願い

交換した部品がしっかりと取付いていることを確認してください。



- ①部品にガタつきがないことを確認してください。
- ②取付ねじのしめつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③錠に鍵を差し込み、施解錠ができることを確認してください。
サムターンを動かし、施解錠ができることを確認してください。
- ④サムターンツマミの動きが重い場合は、サムターンユニットの位置を上下に
調整し、再度取り付けてください。

※部品の取りはずし方は1ページをご覧ください。